

## 地球温暖化防止

# エコラム ECO-LUMN

Vol.108

環境地球温暖化対策室

☎295100

## 海洋酸性化

産業革命以降、人間活動によって大気中に排出された二酸化炭素のうち約半分はそのまま大気中に蓄積され、残りの約半分は海に吸収されたと考えられています。

二酸化炭素は水に溶けると炭酸になり、酸性を示します。海水はいろいろな物質が溶け込み、もともと弱アルカリ性ですが、産業革命以降は少しずつ酸性方向に移行しています。

酸性化が進行していくと、殻や骨格の成分である炭酸カルシウムが作りにくくなっていきます。例えば、生物多様性の宝庫となっているサンゴ礁では、造礁サンゴの発達や形成が阻害され、プランクトン、貝類、甲殻類といった生物は小型化するとともに、食物連鎖



の上位に属する生物の成長・繁殖にも影響が及んでいくと考えられています。大気中の二酸化炭素濃度の増加により地球が温暖化することで、人間も含めて陸と海のほとんど全ての生態系が影響を受けますが、海に吸収された二酸化炭素により海洋酸性化が進むことでも海の生き物は影響を受けます。二酸化炭素には二つの側面があるのです。海が二酸化炭素を吸収する仕組みを制御することも、いったん海に溶け込んだ二酸化炭素を人工的に取り除くことも難しいので、海洋酸性化を防ぐ方法は、二酸化炭素の排出量を減らすしかありません。化石燃料の消費を抑えた社会を一刻も早く構築することが求められています。

## ごみ

ちょっと気にして、  
もっと気にして!

環境事業課 ☎315304

総合支所

危険です！電池は処理困難ごみへ

先日、リサイクルプラザの廃プラスチック処理工程から白煙が上がりました。原因はプラスチックごみに混入していたリチウムイオン電池パックと考えられます。リチウムイオン電池は外部から加えられた衝撃などにより内部が断裂、ショートして異常発熱を起こし火災に至ることがあります。ニカド電池・ボタン電池・コイン電池などの電池類にも同様の危険性があります。

今後このようなことを防ぐためにも、これらの電池類は中に見える袋で処理困難ごみに出してください。その場合、袋の中でショートし発熱する可能性もあるので、セロハンテープなどで絶縁してください。

車・オートバイなどのバッテリーは回収できませんので、販売店などに相談してください。



▲コンベア上から回収した塊

### ■ごみ処理家計簿

| 減量効果 |               | 1月分(前年同月比) |
|------|---------------|------------|
| 増    | 処理費用換算        | -223万円     |
| 減    | 排出量 (1人1日当たり) | 779g(-16g) |

※処理費用は、処理に要する経費と排出量から単純に計算したもので、実際の金額とは異なります。